



挨拶 & 自己肯定感 ⑥

校長 荒井 健

緊急事態宣言の中、長期にわたる学校の臨時休業にご協力いただき、誠にありがとうございました。いよいよ、本日より学校が再開されます。様々な制約の中でのスタートですが、全教職員で心身のケアをしながら教育活動を進めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

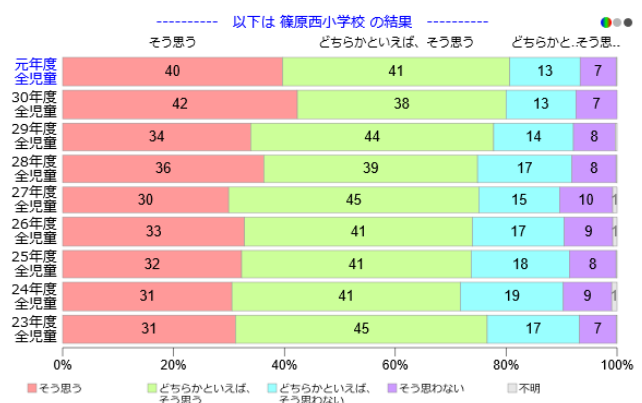
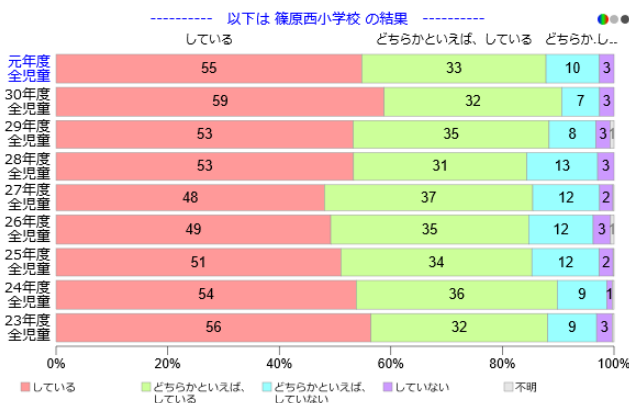
まず、本年度内に教えることが求められる学習内容について、着実に身に付けることができるよう、年間授業計画を組みなおします。また、感染拡大防止の観点から、学校行事等についても見直しが求められています。実情を考えながら、決定次第お知らせいたします。ご理解ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

このような厳しい状況下ではありますが、「挨拶と自己肯定感」への取組につきましては、今年度も大切にしていきたいと思っております。平成29年度5、6、2月号、平成30年度5月号、令和元年度6月号に続いて、「挨拶&自己肯定感」について6回目の掲載です。「挨拶をすすんでできるようになれば、自己肯定感も高まる」という仮定のもと、挨拶指導を通して自己肯定感を高める取組を継続して3年。ご家庭、地域においても、ご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。

昨年度（令和元年度2月実施）の横浜市学力・学習状況調査「生活意識 自己意識調査」における、この2項目の結果は、次のようになりました。

★あいさつを自分からしていますか

★自分にはよいところがあると思いますか。



「あいさつ」については、前年度と比べると、やや自信をもてない子が増えています。校内での子どもたちの様子を見る限り、もっと自信をもっていいと感じています。「自己肯定感」については、「そう思う」はやや減りましたが、「どちらかといえば、そう思う」を含めると、前年度と同様の様子が見られます。

今後、今まで経験のない様々な制約の中で教育活動を進めていきますが、そんな中だからこそ、この取組について、成果が見られることを目指したいと思っております。

なお、挨拶の仕方については、大声を出すのではなく、マスク越しの心をこめた挨拶、目と目を合わせた挨拶を勧めていきます。

引き続き、この「挨拶&自己肯定感」の取組へのご協力をよろしくお願いいたします。